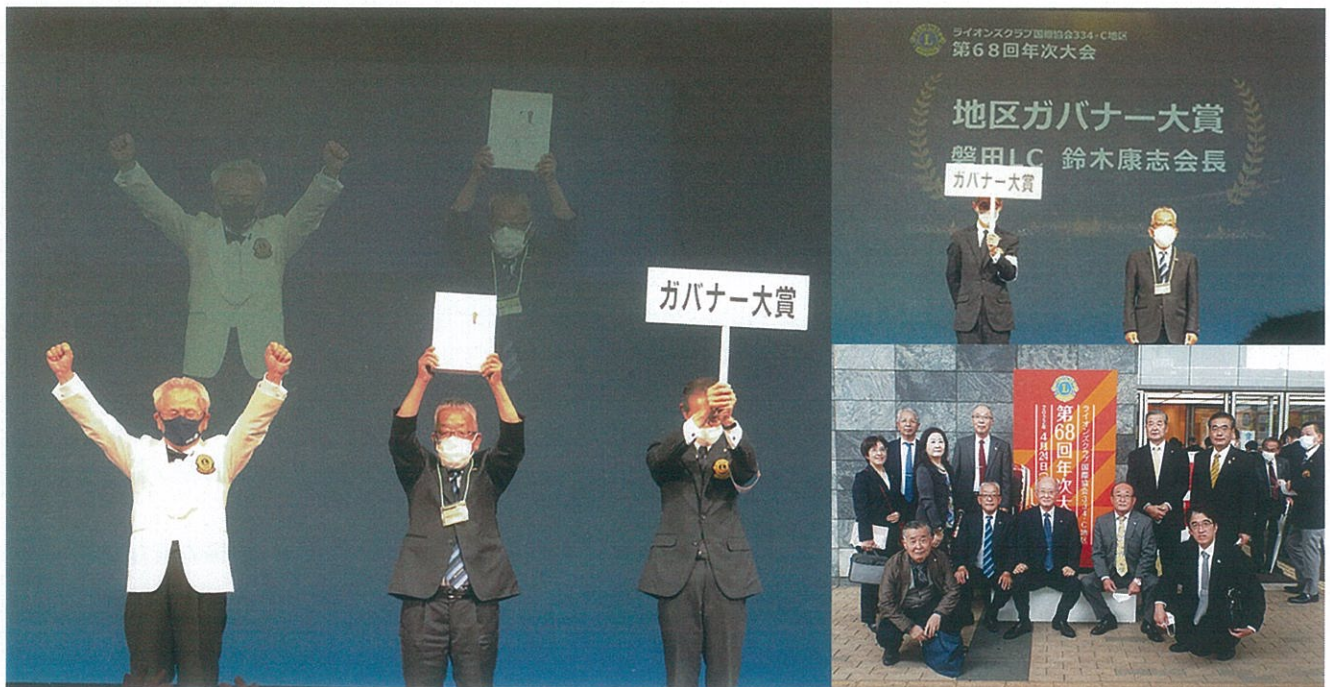




We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2021.7~2022.6]



334-C地区第68回年次大会（静岡市）

国際テーマ

WE SERVE(われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

「将来を見据え 奉仕と変革の能動者となろう」

334-C地区スローガン

「愛と和の心の奉仕で、夢と希望に満ちた未来を拓こう!」

磐田ライオンズクラブ

スローガン 「日常生活の中で ウィサーブ」

努力目標 「元気で楽しく魅力のあるクラブ」

2022 6

会長挨拶

1年間、会長という大役を与えていただき本当にありがとうございました。人生晩年になっての幸せな時間でした。

スローガン「日常生活の中で ウィサーブ(われわれは奉仕する)」、努力目標「元気で楽しく魅力のあるクラブ」を軸に考え行動し、コロナ禍の中にあっても奉仕の心で各委員会が一つにまとまったことで、有意義な活動を行うことができました。

その結果、今年度は最優秀賞として県内76ライオンズクラブのうち1クラブだけに贈られる「地区ガバナー大賞」を受賞することができました。これもひとえに、これまでの磐田ライオンズクラブを築き上げてくださった諸先輩方、そしてコロナ禍で今できる奉仕に全力を注いでくれたクラブメンバーのおかげです。さらに、会員増強賞、MC賞、LCIFクラブ寄付賞、計4つの賞をいただき磐田ライオンズクラブの活動が高く評価された1年となりました。

一昨年度、昨年度に引き続き、様々なアクティビティが延期、中止を余儀なくされましたが、おいしいうなぎで英気を養い、メンバーが一致団結して苦境を乗り越えることができたと感じております。中でも市内15カ所に設置したのぼり旗事業では、メンバーそれぞれが設置場所、設置状態に責任を持ち管理したことで、破損などの対応も迅速に行うことができました。また、春の家族会には100人以上が集まり、いちご空中農園いわたでいちご狩りを笑顔で楽しんでもらえたことが何よりです。

唯一残念でならないのは、これからの活躍が期待されたL.加藤克巳の突然の訃報でした。長年の献身的な奉仕に感謝するとともに心より哀悼の意を表します。

最後になりましたが、三役、役員、理事、会員のみなさま、事務局のご協力に感謝申し上げます。



会 長
L. 鈴木康志



幹 事
L. 村松正規

今年度は、例会の4分の1が休会となる状態でありました。各委員長さんが色々と計画をたて準備までしているのに、緊急事態宣言等により休会にせざる終えなかったのは残念でなりません。ただ本年度会長方針でもあるクラブ内での交流については、のぼり旗で会員同士が協力し合い結果として、例会の出席率の向上に繋がっていると思います。

幹事として責務を果たせたかは自信がありませんが、会長をはじめ会員の皆様の協力のお蔭で何とか1年を終えようとしています。本当にありがとうございました。



会 計
L. 山内盾夫

会計という大役を仰せつかり務めさせて頂きましたが、今年度もコロナ禍で各委員会のアクティビティがなかなか思うように出来なかった1年間でありました。

しかし会計処理は意外と細々としたことが多く大変(事務局の伊藤さんが!)だったかと思います(私は確認するだけでした)。

そんな中で私自身1つだけ進歩出来たものがあります。クラブ銀行印の押印の仕方が少し上手になったかなという事です。

少々(?)ボケ気味の私ですが、何とか無事に務めることが出来たのは寛容な皆様方と才色兼備の伊藤さん(事務局)からご指導・ご協力を賜ったお蔭であります。

改めまして感謝申し上げます。有り難うございました。



ライオン・テーマー
L. 山中 淳

まだ1年生の私が、引き受けさせていただいて良かったのか?と後で反省いたしました。が、会員の皆さんや事務局の伊藤さんにご指導をいただき、何とか1年間務めあげることができました。本当にありがとうございました。今年度は、会場をラトリエ・ドゥ・マリエへ変更しましたが、大きな混乱もなく無事例会を開催することができました。至らない点も多々あったかと思いますが、大変勉強になりました。これからは、クラブの活動に積極的に参加していきたいと思っています。引き続き、ご指導をよろしくお願いいたします。



テール・ツイスター
L. 古田康隆

今年度も例会が何度か中止になりましたが、無事にテール・ツイスターの職務を全うすることができました。振り返れば、皆様からお預かりしたドネーションを披露させていただく際にも私自身の活舌が悪かったり等、至らない点も多々ございましたが、一年間たくさんのドネーションをしていただきまして誠にありがとうございました。



会員出席委員長
L. 飛田 紗有李

コロナ禍で交流が制約されている中、会員維持増強を課題とし委員会一丸となって取り組みました。会長方針である楽しく魅力あるクラブを目指し、コミュニケーションを深めべく担当例会やクラブ新会員セミナーも和気藹々と実現出来ホッとしています。

年次大会で『会員増強賞』を受賞出来ましたのも皆様のご協力の賜と心より感謝申し上げます。世界最大の奉仕団体である事、日頃から地道にコツコツと積み重ねた磐田クラブの総合力、底力に誇りを持ち、私達も時代の流れに添い成長していきましょう。



会則接待諮問委員長
L. 鈴木 和男

R 3 年 8 月第 1 担当例会、R 4 年 2 月第 1 担当例会の準備を進めて、メンバースピーチをお願いした方々に中止の報告をするのは辛いものが有りました。最後の 5 月第 1 担当例会もメンバースピーチをお願いして有り、本人も熱を込めて講話をします、と意気込んでいますが果たして実現するのか、かなり確率は低いように感じています。それでも委員会は毎月開催して例会の内容について真剣に打ち合わせをしてきました。コロナ禍とはいえ 20 年余りの LC 活動でこの様な不完全燃焼はありませんでした。一日でも早く正常活動が出来る日を心待ちしています。



財務 LCIF 委員長
L. 鈴木 紳之

本年度は 6 名の M J F 献金と、メンバー全員の 100 ドル献金達成により、地区年次大会で表彰されました。これも皆様のご理解ご協力のおかげと、心より感謝申し上げます。

近年の想定外の自然災害、食糧危機、そして世界を巻き込んだ戦争による人権侵害等。グローバル化が進む中、これらは決して人ごとではありません。ライオンズクラブを通して世界に支援できる事の意義深さを痛感した一年となりました。ありがとうございました。



大会計画委員長
L. 戸塚 邦彦

今年度も新型コロナウイルスの影響で、12 月のクリスマス研修会は中止。8 月の家族会も一旦は中止となりました。しかし、メンバー全員でコロナ禍でも何かできないか知恵を絞って、3 月に「いちご空中農園いわた」にて、いちご狩りの家族会を開催する事ができました。107 人の参加者という大盛況の基、会員相互や家族との絆を築く事ができたと思います。

施設もできたばかりで初めて知る人も多く、磐田市の魅力に触れ合う機会が持てた人も多かったのではないかと思います。委員会の皆さん 1 年間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



献眼献腎献血委員長
L. 河原崎 誠

コロナ禍のため夏祭りが中止となり、更にその代替として予定されていたアピタでの献血運動もクラブとしての活動は取り止め、献血への協力者に対する返礼品の提供としました。また、いわた大祭りも開催場所の変更により、献血・献眼への協力者が限定的となる事が想定されるため、アピタでの実施となりました。静岡産業大学での献血運動は予定どおり実施することが出来ました。ヘアドネーションは前任者の努力によるところが大きい。この 1 年は活動に制約はありましたが、クラブ会員の協力に感謝申し上げます。



環境福祉委員長
L. 斉藤 伸

今年度も新型コロナウイルスの影響による長引くまん延防止重点処置期間、また、緊急事態宣言と、残念ながら思うような活動ができませんでした。そんな状況下において、少しでも会員の皆様の為にできることはないかと奮闘していた、会長をはじめとする三役の皆様には頭の下がる思いです。また、当委員会としても、大勢の会員の皆様のご協力のもと、約 10 年ぶりのライオンズパークと大池のベンチ交換、そして毎年恒例の草刈りといった活動ができました。改めて御礼申し上げます。



青少年 YCE クエスト委員長
L. 伊藤 慎弥

青少年の未来に光を灯す！との想いで一年間活動をしてまいりました。国際平和ポスターコンテスト受賞式では、受賞された子ども達の笑顔はもちろん、親御さんの大きな笑顔に心を癒されました。「応募してよかった」「受賞式を見ていたこっちが感動した」等の声が来場者から聞かれ、大成功に終わりました。青少年奉仕活動支援事業では、「市民活動センターのっぴ」と共に、高校生ボランティアへの支援・アドバイスをを行い、イベントでのブース出店や、子ども達への食育事業等を行う事が出来ました。この支援事業は継続的に行われます。次年度以降も、高校生の活動が楽しみです。

アクティビティ・例会より

家族会 3月26日(土)

家族会は、コロナ感染拡大で去年は中止、今年も8月の開催も中止せざるを得ませんでした。しかし、メンバーや家族が楽しみにしている行事を何とか開催しようと、委員会のメンバーが知恵を絞って、ウィズコロナに相応しい家族会をと思索を凝らし、「いちご狩り」を開催する運びとなりました。当日は107名参加とかつてない多くの参加者が集いました。

コロナ禍に加え、更に戦争の悲惨な映像ばかりの放映で苛まれた心が、参加者の笑顔や小さな子ども達の口一杯に含んだ微笑ましい姿などで、忘れかけていた笑顔を取り戻し、おなか一杯・幸せいっぱい・笑顔いっぱい溢れる一日を過ごす事ができました。

大会計画委員長 L.戸塚邦彦



4月第2例会「新たな出会いの大作戦!」 4月21日(土)

4月の第2例会において、会員出席委員会が担当し「新たな出会いの大作戦!」～あなたのことをもっと知りたい、私のことをもっと知って～を行い、メンバーに参加してもらった。予めテーマと発表者を決め、自己アピールの発表を聞いて、質問したり、同意・共感などしてコミュニケーションをはかる中で、新たな一面を発見し、より身近に感じてもらえたと思います。もちろんこれで終わりではなく、今後例会で顔を合わせたり、一緒に活動する中で会話のきっかけだったり、お互いを理解し合うはじめての一步になればと期待しています。

会員出席委員会 L.松田智照



ガバナー大賞を市長に報告 4月26日(火)

4/26にガバナー大賞受賞を草田市長に報告しました。年次大会の様子や大賞を受賞した経緯などを報告し、他にも表彰された「会員増強賞」「LCIF・クラブ寄付賞」「MC賞」についても説明しました。市長からは「日常のライオンズの活動に感謝しています」というお言葉を頂戴しました。来年度は磐田・森町・袋井・豊田が中心となり年次大会を開催するための協力要請も行ない、「全力で協力をします」の力強いお言葉もいただきました。

MC委員長 L.座光寺 明



お悔やみ 加藤 克巳 (2011.1.20入会) 4月27日逝く 享年67歳。11年間奉仕の心ありがとうございました。心からご冥福をお祈りいたします。



MC委員長
L.座光寺 明

編集後記

一年間MC委員長として活動の取材を行ないました。また今年度のMC委員会事業として「のぼり旗」の設置も行ないました。すべての行事に於いて、ライオンズ会員の皆さまのWe serveの精神に溢れている姿を至るところで見ることができました。のぼり旗などすべての活動に於いて、鈴木康志会長が率先垂範の姿勢を示してくださいました。その会長の姿にも感激しています。『磐田ライオンズクラブってステキな団体だな』と感じる一年でした。ご協力に感謝申し上げます。